

支部協だより

第54号

発行所
N T T 労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-2
☎098-870-7101
Fax.098-875-7450
責任者
黒島善市

あなたは子や孫に 負の遺産を残すの ですか。

第八回定期総会で 県知事候補「糸数けいこ」さん の支援を決定

ここ南国沖縄も徐々に秋の気配を感じられるようになって参りましたが、会員並びにご家族の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今回の県知事選挙は、この私たち沖縄に横たわる様々な課題、特に私たち県民に犠牲を強いるだけの新たな軍事基地を認めるか否かの意思表示をする重大な選挙であります。

これを公式に認めました。これに対し、名護市長は「双方向飛行の話は一切なかった。基本合意の前提は、住宅地上空を米軍機が飛行しないことだ。これなら滑走路は一本で済んだ。納得できない」として、政府案(V字案)の根拠が崩れたことを強調しています。

また、地対空誘導弾パトリオット(PAC3)の嘉手納基地などへの配備についても、同長官は「沖縄の人は感謝してほしい」と発言し、県民の心情などまったく理解しようとして、常に米国(米軍)の立場で考え、物を言っています。基地周辺の首長、保守の嘉手納町長さえも反対表明をしているにもかかわらず。

環境の良い中で、多少の汗を流し、健康的で自立した身の丈に合った安心した生活をするのか、よく考えてみたものです。五〇年一〇〇年先を見据え、子や孫に負の遺産を残してはなりません。八年前稲嶺知事は、七・七パーセントだった失業率を本土並みにする。自分には解決するためではなく解決すると言って当選しました。しかし昨年の失業率は七・九パーセントで、この間の平均失業率も八・〇二パーセントとむしろ悪くなっています。

沖縄のことは沖縄に住むウチナーンチュが決める。政府に県民の意思・意見を正しく訴える知事を誕生させようではありませんか。その政策を示しているのが**糸数けいこ**さんです。会員、ご家族お一人おひとりが、声をかけ合って呼びかけをしていただくことをお願い致します。

二〇〇六年
十一月九日
会長 黒島善市